

令和 8 年 2 月 2 4 日 群馬県環境審議会水質部会

群馬県流域別環境基準維持達成計画 (2026-2030)

環境森林部 環境保全課

計画の目的・期間

◆ 目的

県内7流域における**BOD汚濁負荷量**および**水質の現状・将来の把握**

- ・ 環境基準達成に向けた効果的な**水質保全対策の明確化**
- ➡ 発生源対策を担う主体（下水道部局等）の**取組を促進**
- ・ 水質保全に関する**基礎資料・啓発資料**としての活用

◆ 計画期間

2026年から2030年の5年間

衛生環境研究所のシミュレーションによる推計

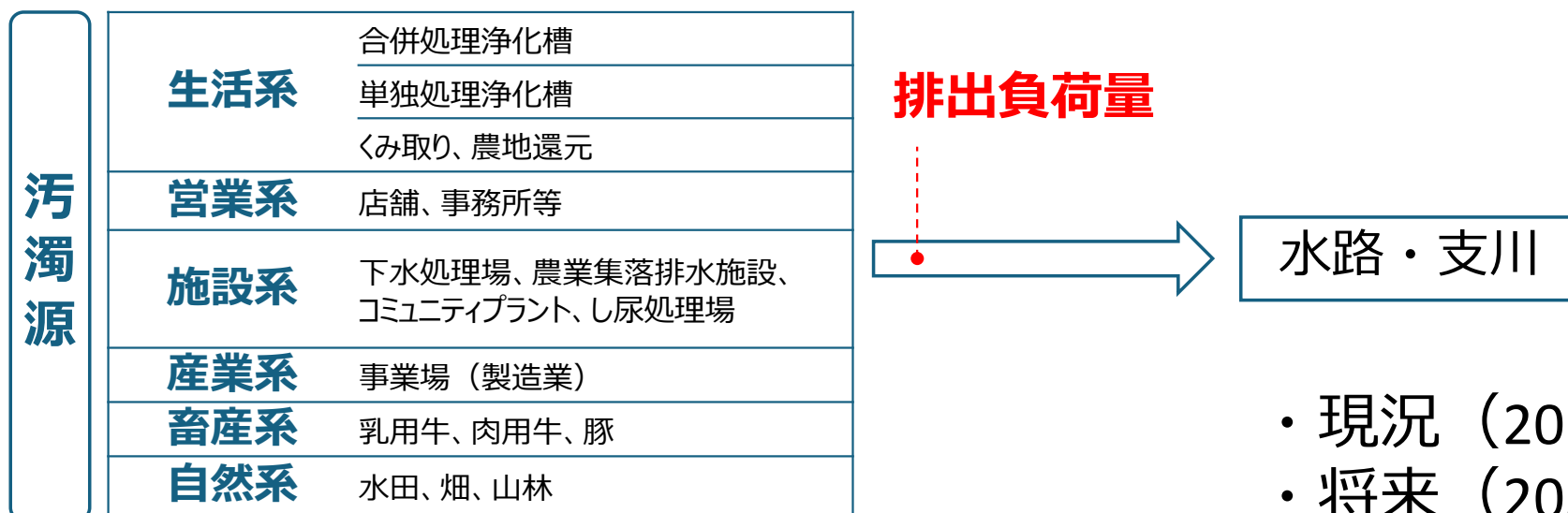
排出負荷量

- ◆ 利根川流総基本方針と同様に、発生源ごとに排出負荷量を定量化

└ 利根川流域別下水道整備総合計画に関する基本方針

- ◆ 算出方法：原単位法

【例】 乳用牛負荷量(g/日) = 乳用牛頭数 × 原単位(g/頭/日)

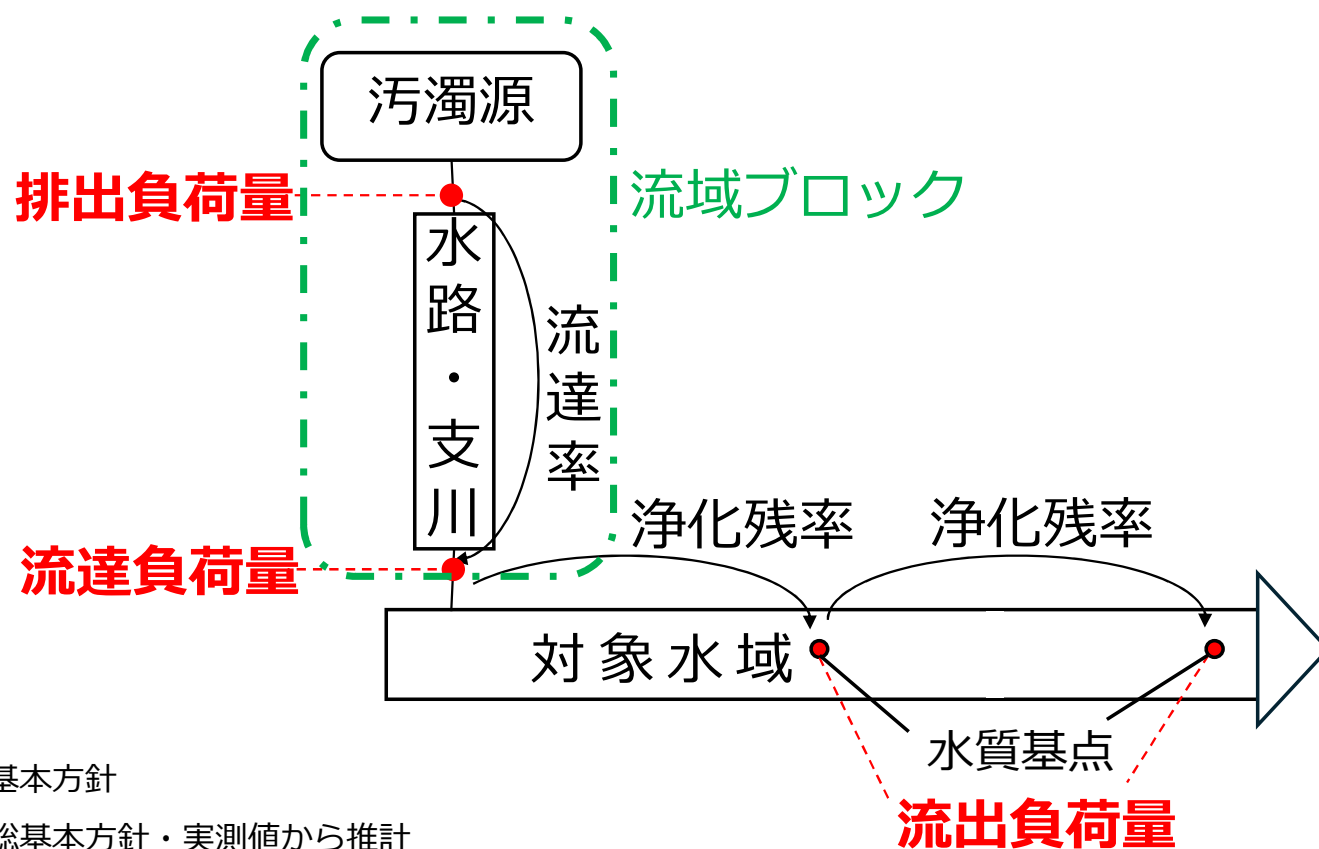


負荷量の積算：各種統計資料や推計値等のデータを使用

- ・ 現況（2023年度）
 - ・ 将来（2030年度）
- 排出負荷量を計算**

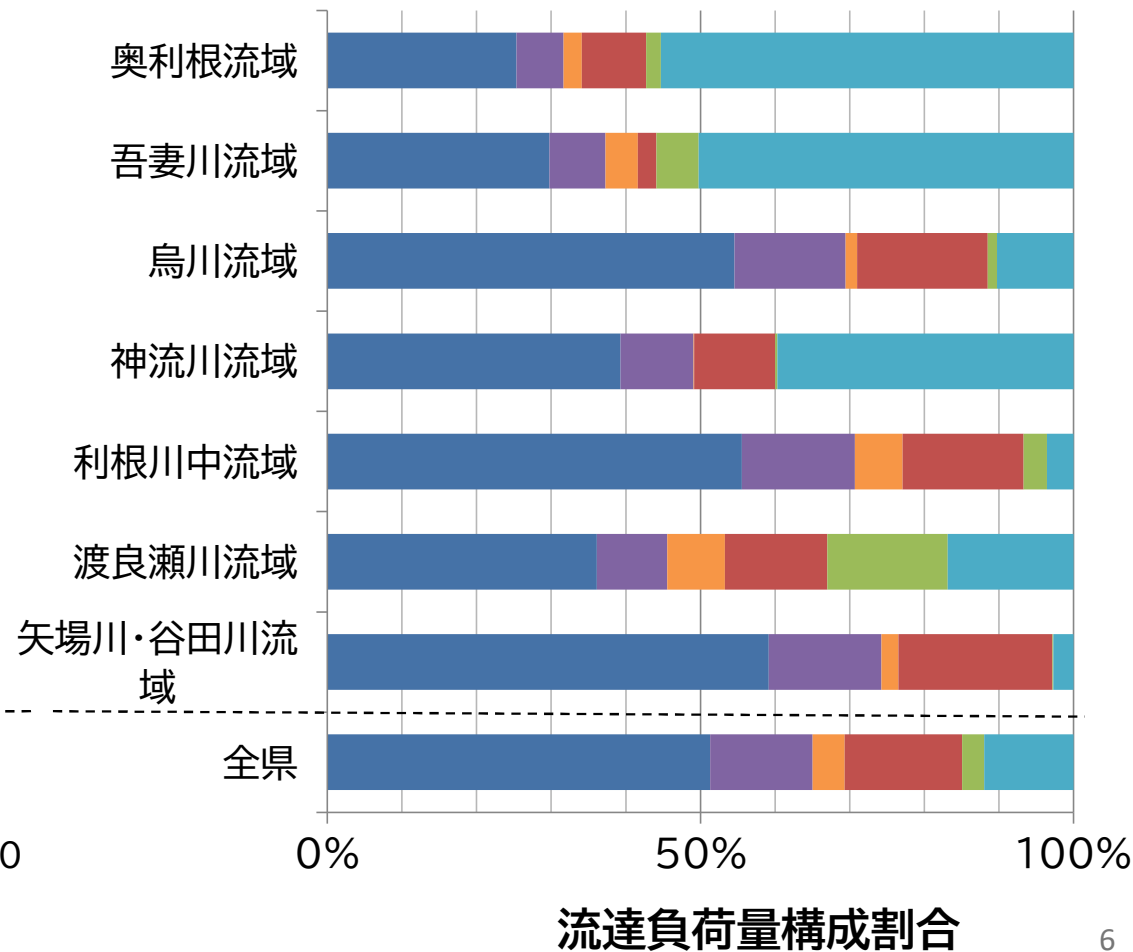
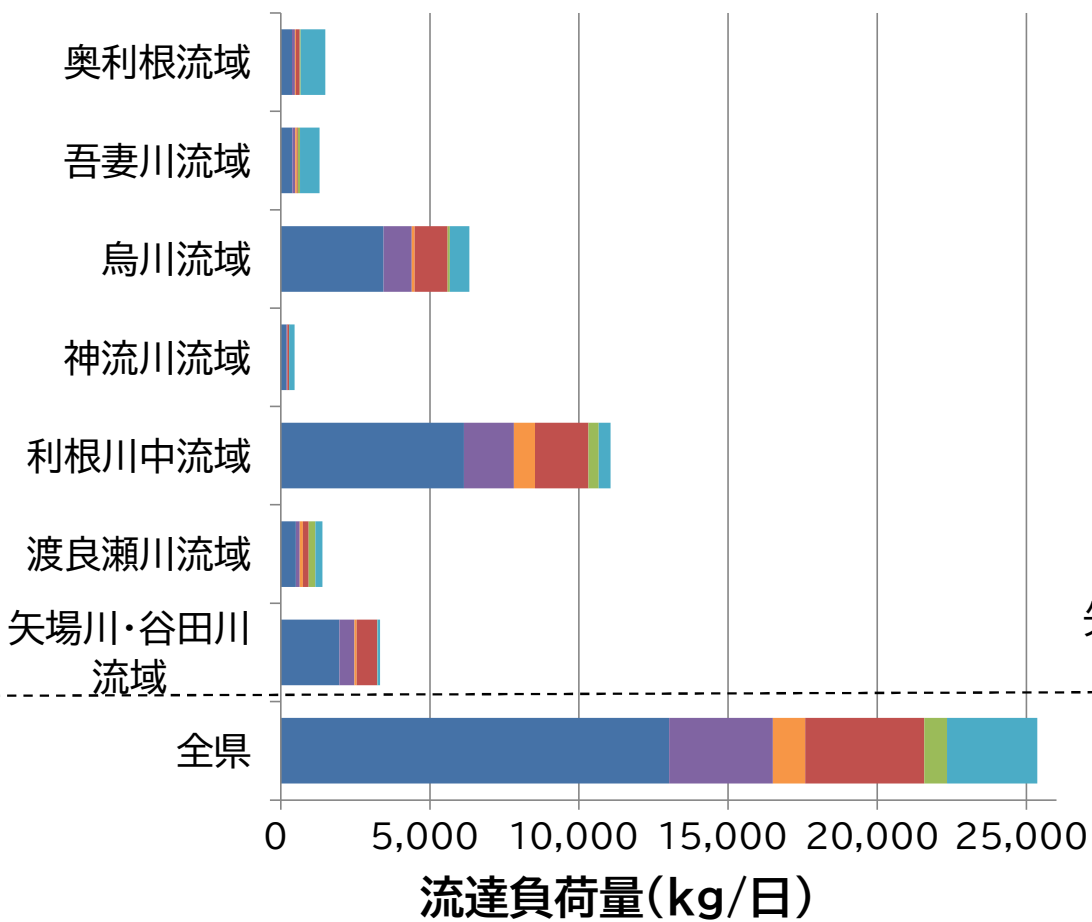
負荷量の考え方

- ◆ 流達負荷量：排出負荷量が対象とする水域に到達する量
- ◆ 流出負荷量：流達負荷量が水質基点に到達する量

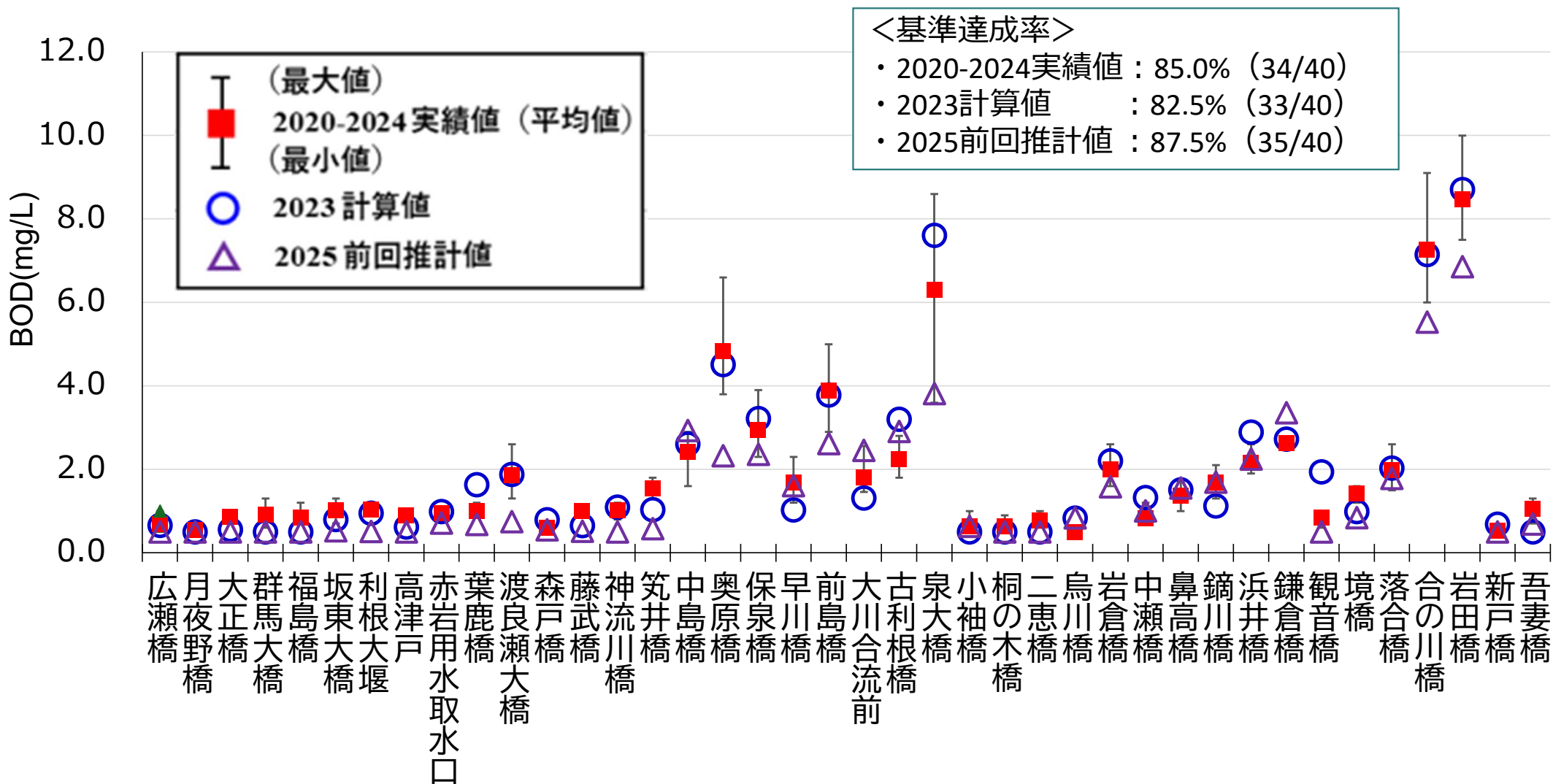


- 流達率：利根川流総基本方針
- 浄化残率：利根川流総基本方針・実測値から推計

現況（2023年）流域別流達負荷量

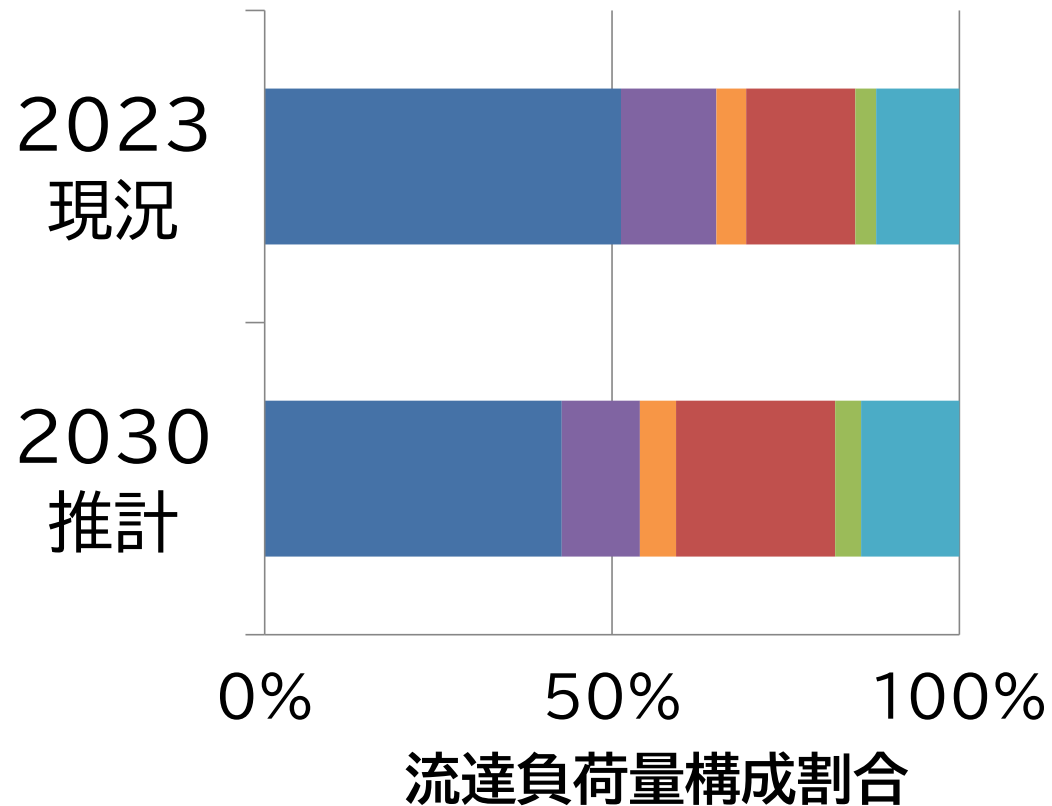
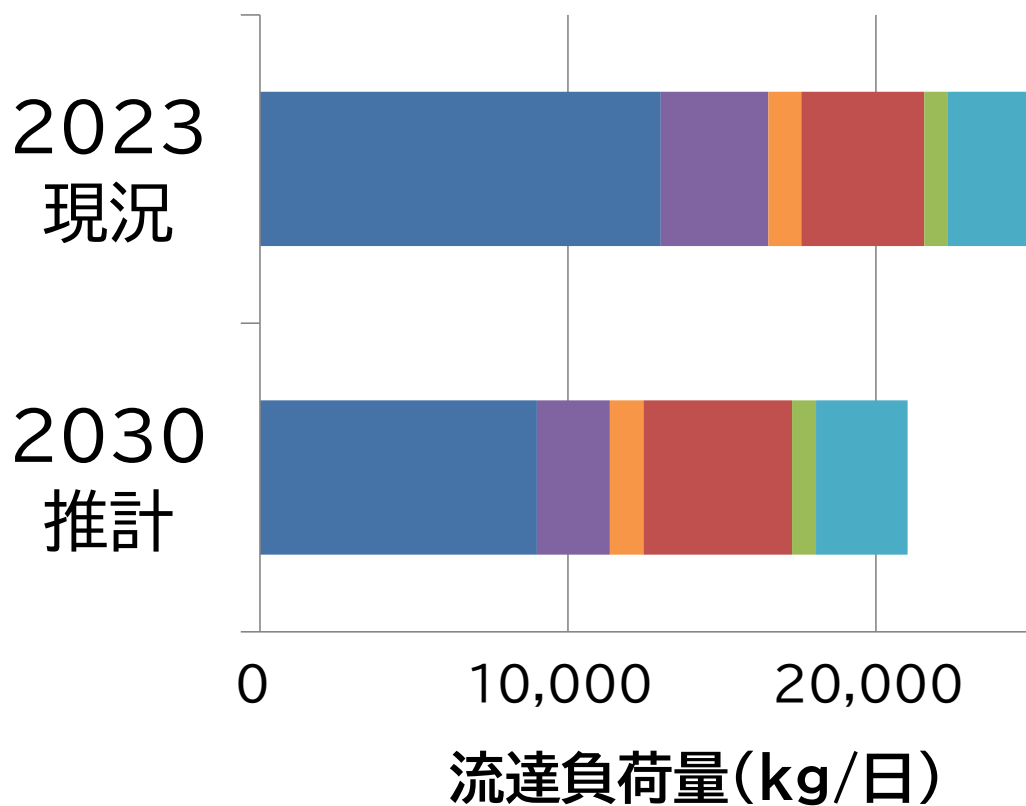


実績値・前回計画との比較



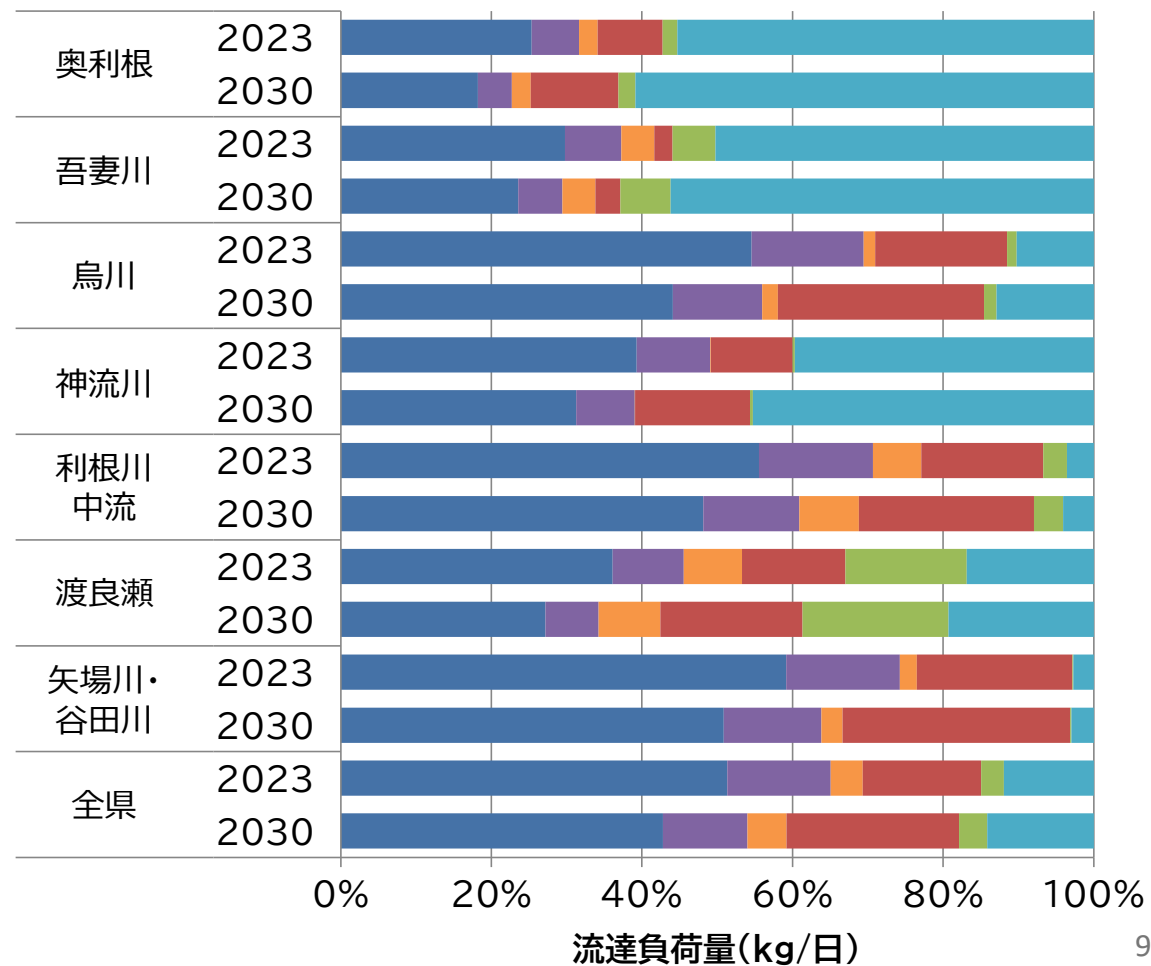
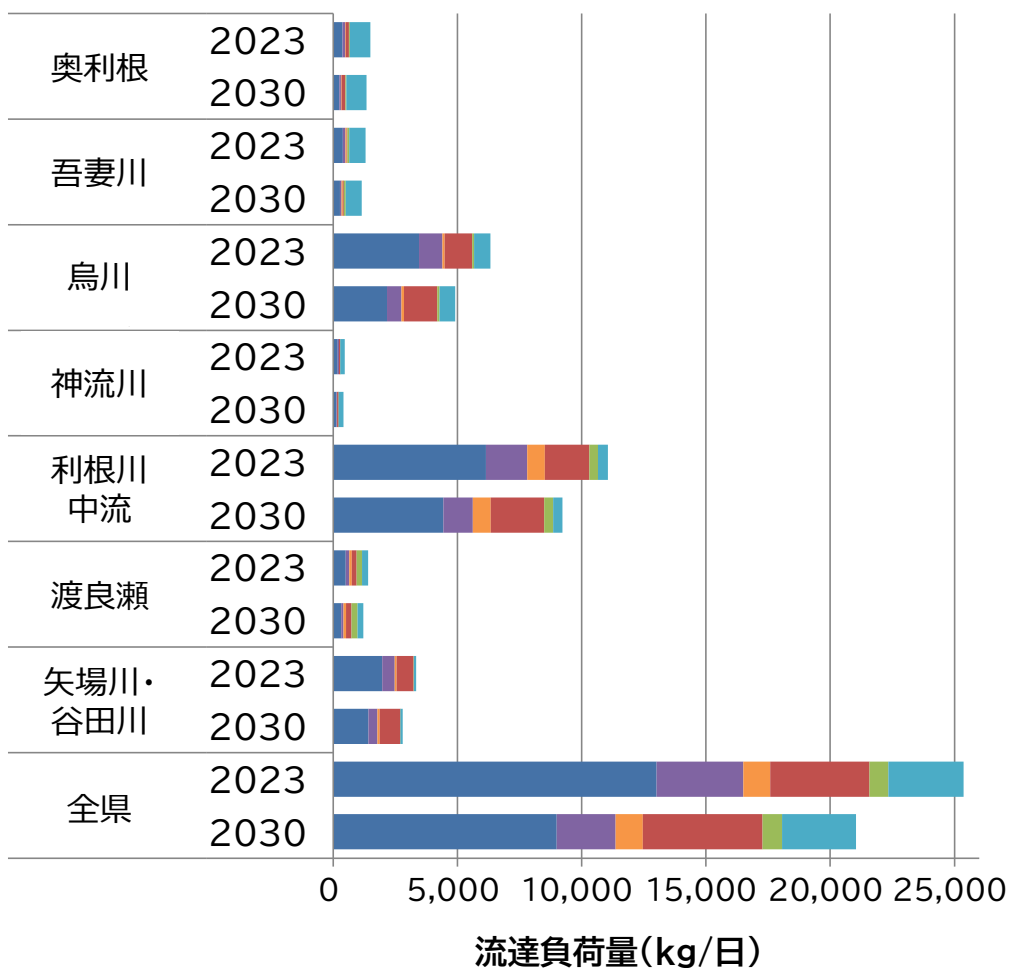
流達負荷量-現況・将来比較

■ 生活系 ■ 営業系 ■ 施設系 ■ 産業系 ■ 畜産系 ■ 自然系



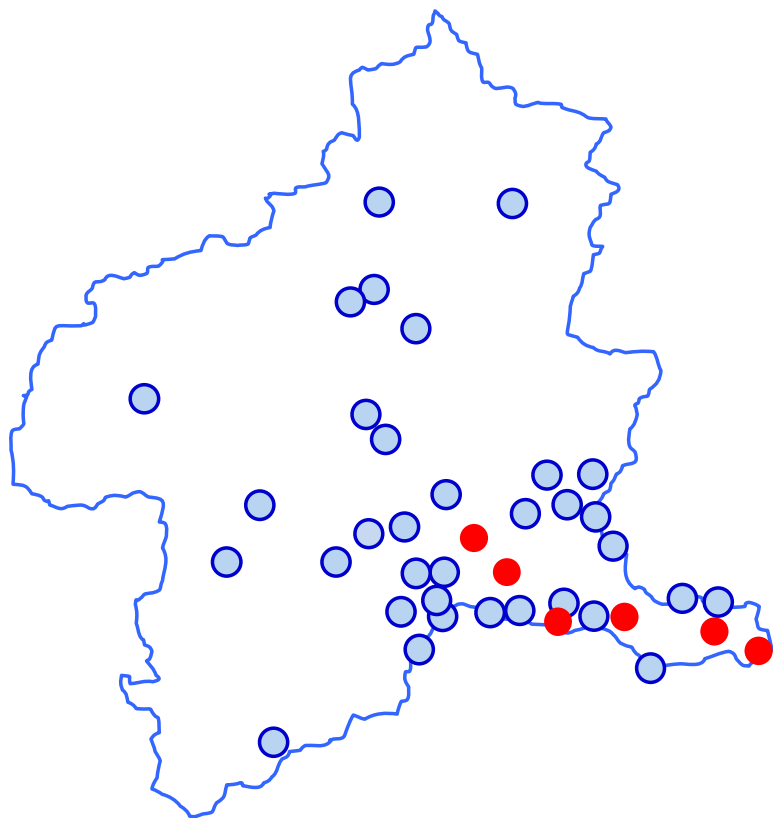
流域ごとの流達負荷量-現況・将来比較

■ 生活系 ■ 営業系 ■ 施設系 ■ 産業系 ■ 畜産系 ■ 自然系



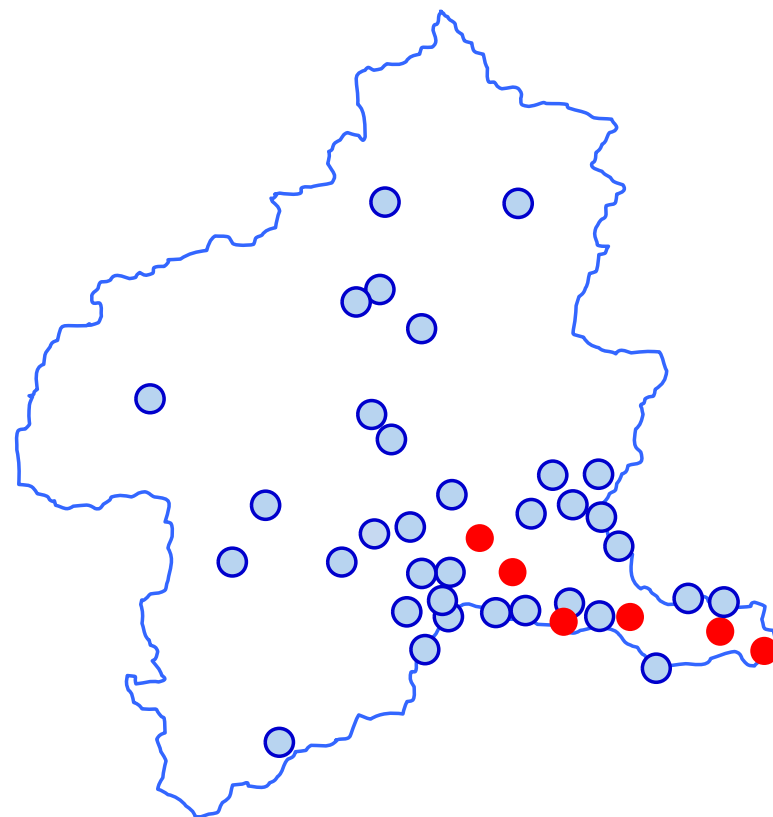
将来の環境基準達成状況

2020-2024実測平均値



基準達成率 : 85.0% (34/40)

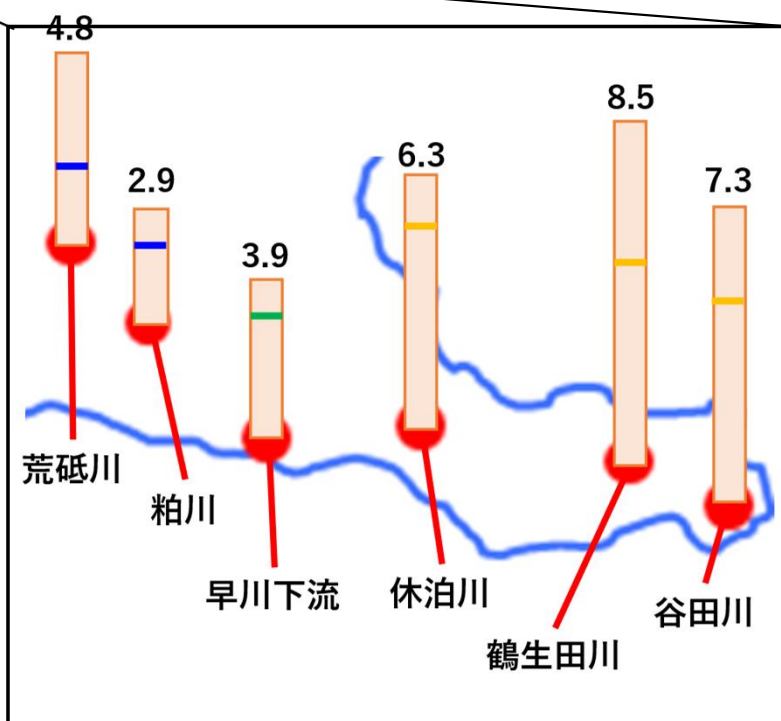
2030推計値



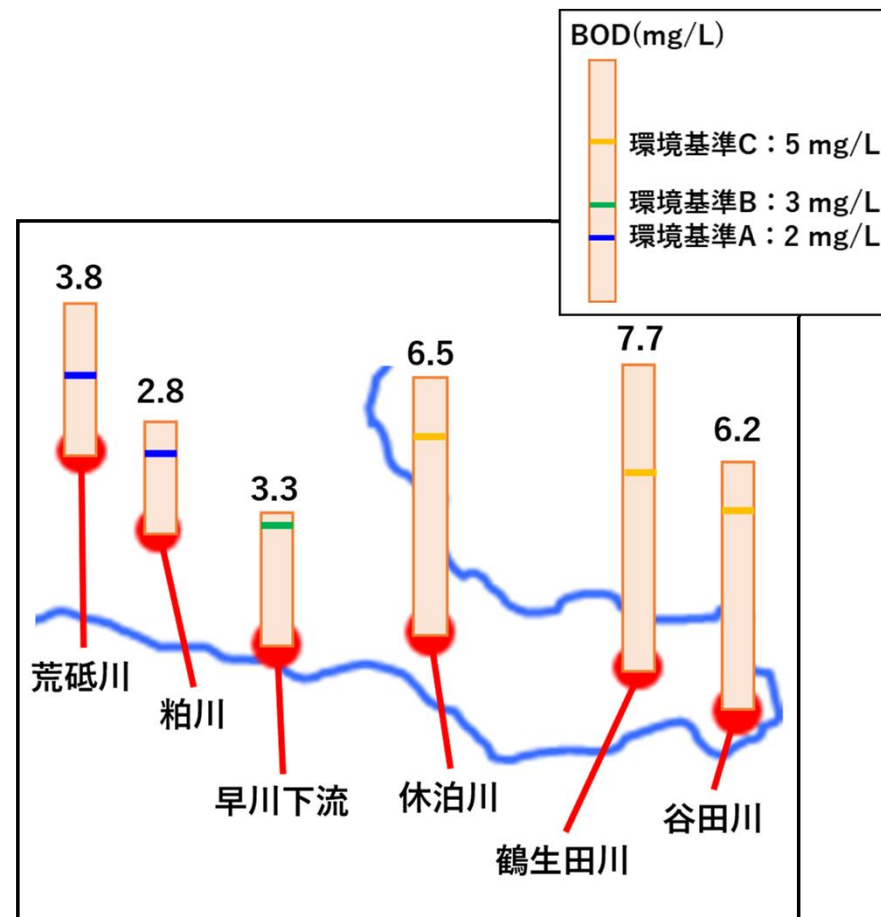
基準達成率 : 85.0% (34/40)

将来の環境基準達成状況

2020-2024実測平均値



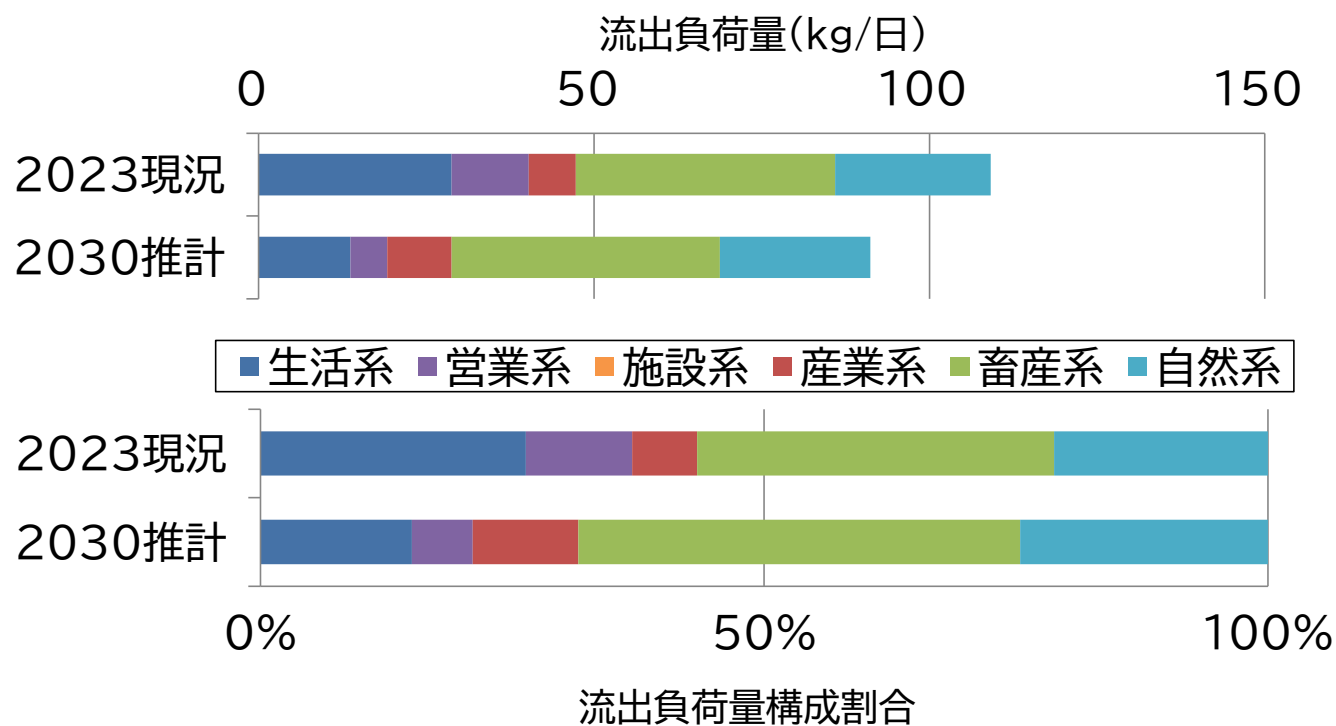
2030推計値



環境基未達成水域

荒砥川

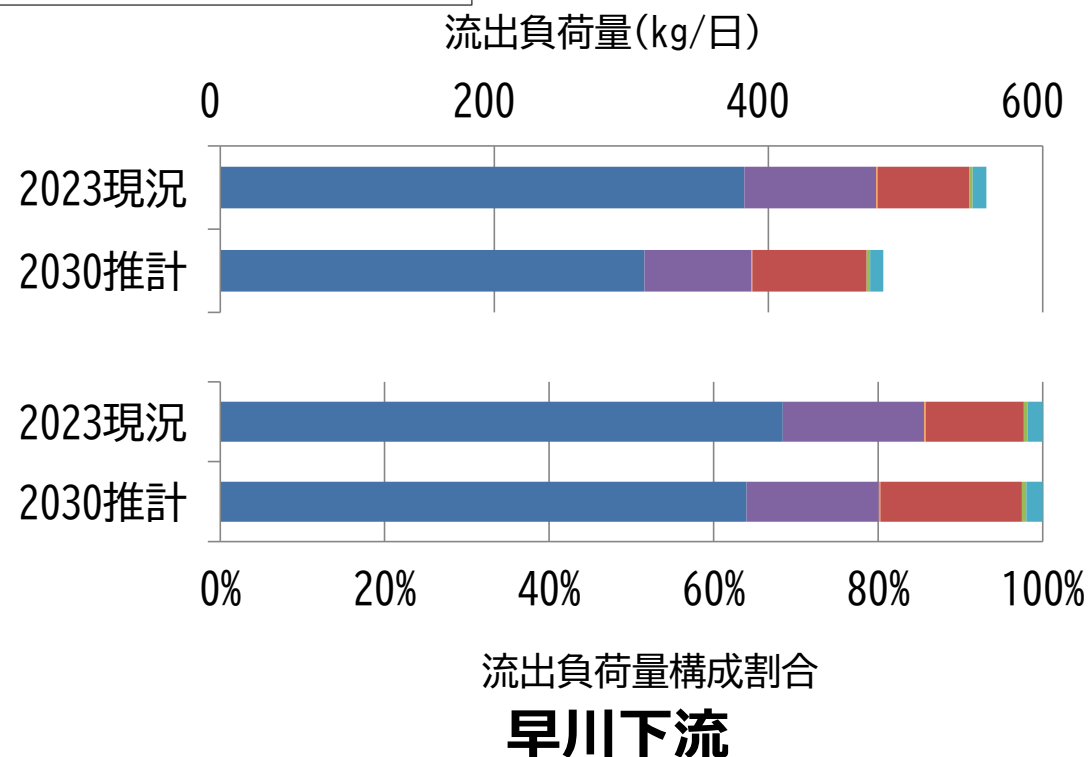
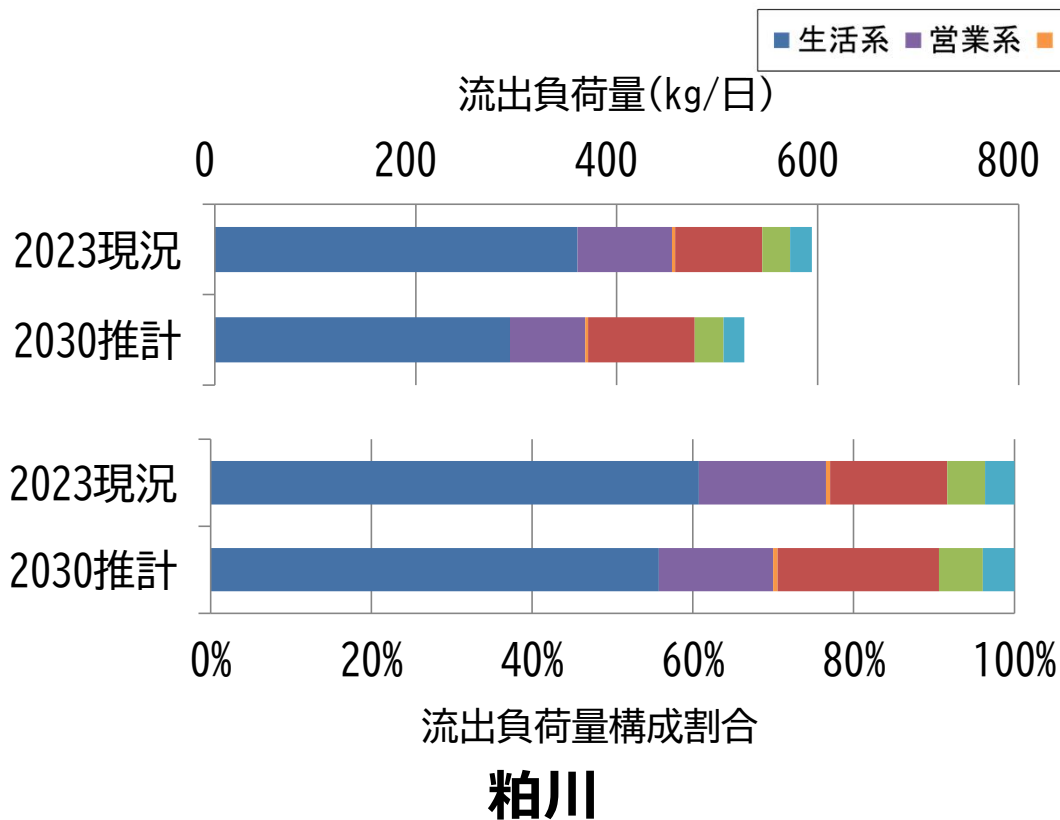
- 他の水域と比べて**畜産系負荷量**が大きい。



環境基未達成水域

粕川、早川下流

・生活系・営業系負荷量：8割程度

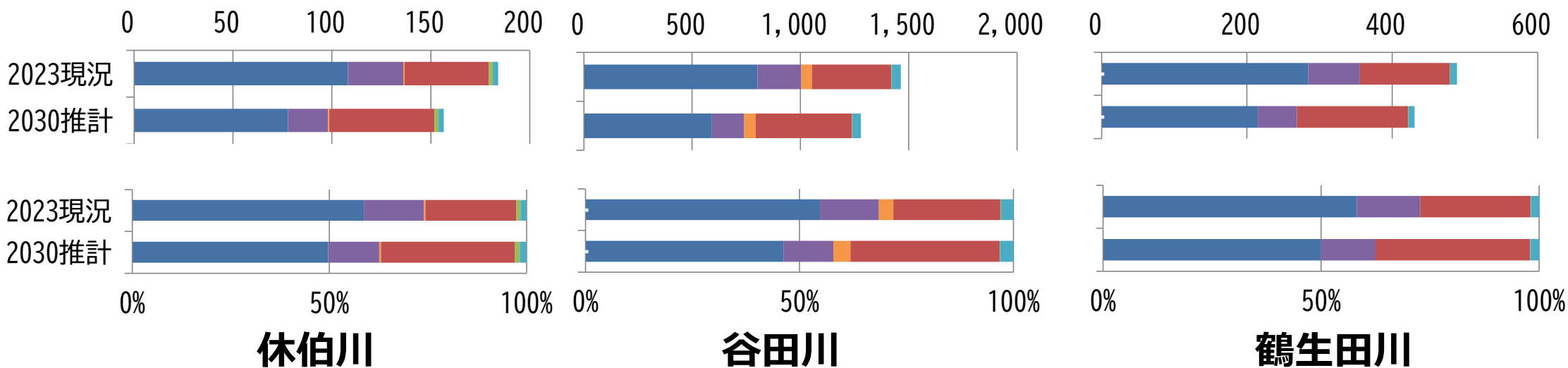


環境基未達成水域

休泊川、谷田川、鶴生田川

- ・生活系・営業系：7割程度
- ・産業系：2～3割程度

■生活系 ■営業系 ■施設系 ■産業系 ■畜産系 ■自然系



城沼の植物プランクトン等による内部生産の影響

対策の方向性

排水の汚濁負荷量削減の推進



生活系排水

- ・ 下水道等と合併処理浄化槽の効率的な整備
- ・ 合併処理浄化槽への転換促進
- ・ 浄化槽の適正な維持管理
- ・ 所有者等への指導及び啓発



産業系排水

- ・ 排水基準の遵守徹底
- ・ 負荷低減のための自主的取り組み



畜産系排水

- ・ 家畜排せつ物の適切な管理の徹底
- ・ 排水処理施設の適切な維持管理
高度処理装置の導入等